

かんたん設定マニュアル (1)

各ステップのメニュー部分をクリックすると説明ページを参照できます



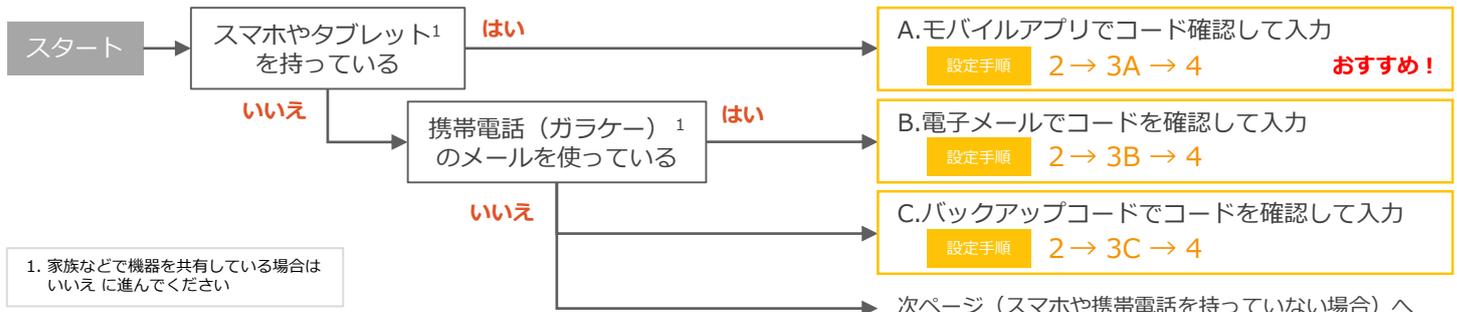
設定方法説明ページ (広大ID)

広大IDの多要素認証とは？

- ✓ 広大IDは職員番号や学生番号, 利用登録証の番号です (例: B209999)
- ✓ Myもみじ, いろは, Bb9などへのログインで利用しています
- ✓ 学外からアクセスしたときに2要素目 (パソコンとは異なる機器) による認証が必要になります

設定は2要素目として利用する機器によって異なります。スマートフォンや電話などの2要素目となる機器を手元にご準備ください。

1 2要素目の認証方法を決める



2 パソコンで多要素認証の申請をする

パソコンのブラウザでメディアセンター利用登録システムにアクセスします。

URLにアクセス

<https://reg.huc.hiroshima-u.ac.jp>



① [広大IDでログイン] からパスワード入力



② 右上の☰から [広大ID]
→ 多要素認証設定 (別ウィンドウ)



③ 広大IDとパスワードでログイン



④ [多要素認証設定] をクリック

次は3A, 3B, 3Cのいずれかの設定に進んでください。

3A モバイルアプリで設定する

アプリをダウンロードして設定画面に表示されるQRコードを読み取ります。



① [Microsoft Authenticator] をインストール

※ すでにインストールしている場合はスキップして②へ



② アプリを起動 → 追加
→ 職場または学校アカウント
→ QRコードをスキャン

③ アプリに表示されたコード (6桁) を [認証コード] に入力して確認

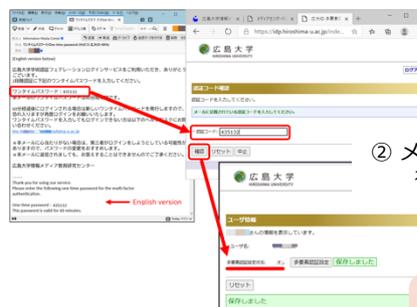
✓ 多要素認証設定状況が [オン] になれば設定は完了

3B 電子メールで設定する

コードを受け取るメールアドレスを指定してメールを確認します。



① [認証コードをメールで通知する] を選択
→ コードを受け取るメールアドレスを入力



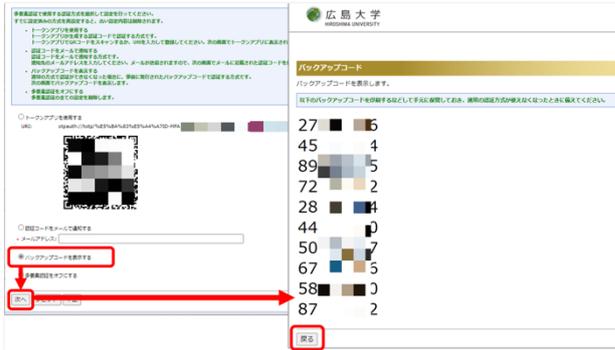
② メールで受け取ったコード (6桁) を [認証コード] に入力して確認

✓ 多要素認証設定状況が [オン] になれば設定は完了

かんたん設定マニュアル (2)

3C バックアップコードを取る

バックアップコードは、スマホアプリの認証や電子メールでの認証ができない場合にもログインできるようにするためのものです。



多要素認証設定状況が【オン】になれば設定は完了

- ① [バックアップコードを表示する] を選択
→ 表示される10個のコードを記録

4 設定後の動作確認をする

最後に、実際に多要素認証の動作を確認します。

多要素認証は学内ネットワークからのアクセスではスキップされますので、動作確認は学外ネットワーク（自宅やスマホのテザリング、eduroamなど）から行ってください。

<https://reg.huc.hiroshima-u.ac.jp>

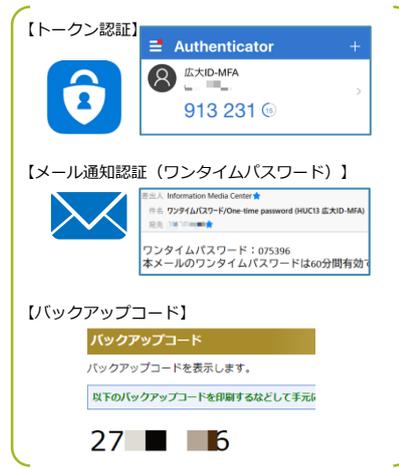
- ① メディアセンター利用登録システムにて[広大IDでログイン]を選択



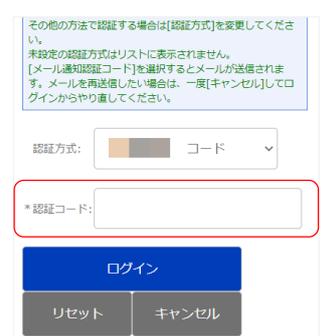
② 広大でログイン



③ [認証方式] を方法を選択



④ 2要素目でコードを取得



⑤ コードを入力してログイン完了

🔍 こんなときは？

- 現在の多要素認証の設定状況を確認する方法はありますか？
✓ 学外ネットワーク（自宅やスマホのテザリング、eduroamなど）からいろいろはよみじにログインする際、パスワード入力後にコード入力が表示される場合は設定が有効になっています。
- スマホを機種変更した場合はどうすればよいですか？
✓ 認証方法の変更が必要になります。学内ネットワーク（HU-CUPなど）であれば2要素目はスキップされますので、学内ネットワークに繋いで変更をしてください。
- 不具合が出たため、多要素認証を一旦無効化（設定変更）したい場合はどうすればよいですか？
✓ 学内ネットワーク（HU-CUPなど）から「2. パソコンを使って2要素目の設定を行う」に従って [多要素認証をオフにする] を選択します。



メディアセンターFAQサイトに詳細を掲載しています

⚠️ スマホや携帯電話を持っていない場合の対応について

使用するパソコンのWebブラウザの拡張機能を利用して多要素認証を行うことができます。パソコンにログインパスワードを設定して、第三者が利用できないようにしっかり管理されている場合のみご利用ください。

設定方法に関するFAQページ
https://help.media.hiroshima-u.ac.jp/index.php?solution_id=1170